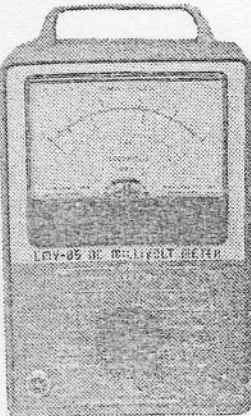


# 国内新製品紹介

## リーダーの低電圧測定器 “LMV-85”

本機はオーディオ回路、低レベル AC 電圧等の測定用に設計されたもので、入力段はコンド・ファロワーによるハイ・インピーダンス (1 kc で 10 MΩ) をもち、被測定回路への影響を最小限にとどめ、増幅段はカスコード回路を採用し、高度の安定化をはかっている。測定範囲は 10 mV ~ 300 V (rms) が 10 レンジとなっており、誤差はフルスケールにおいて 5%、周波数特性は 10c/s ~ 800 kc ±1dB である。使用真空管は 6C4, 12AT7×2 である。外形寸法は 225×150×105 mm で、重量は約 2.5 kg である。  
(横浜市港北区潮島町 850)



大松電気 K. K.

## Aloka の照射線量警報計 “PCA-1B, PCA2”

原子炉とかアインストープ、X線装置などを扱う人がある程度以上の放射線を受けると警報を発するもので、ポケットまたはバンドに装着したまま作業するのに便利である。警報を発する線量はあらかじめセットしておくことができる。トランジスタ式なのできわめて軽便にできている。外形寸法は幅 70×高さ 110×厚さ 30 (mm) で、重量は 350 gr である。



(東京都三鷹市上連雀 930 日本無線内)

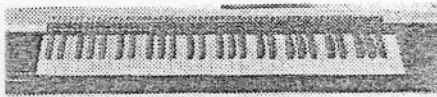
K. K. 日本無線医理学研究所

## エーストーンの電子オルガン パーツ

### ●AK-2 型キー・ボード

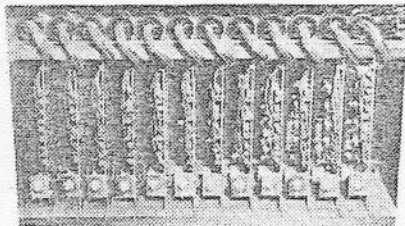
本格的な電子オルガン用キー・ボードで、キーはプラスチック・モールド製で十分な強度を持ち、温度・湿度などによる狂いはない。接点はダブル・コンタクトで、パラジウム合金 (メ

ッキではない) を使用しているため長期の使用に耐えられる。また軽いタッチとスイッチの確実さも保証されている。3種類あり、AK-21型 (1列 SW) は ¥25,500。AK-22型 (2列 SW) は ¥27,500。AK-23型 (3列 SW) は ¥29,500



### ●AG-2 型トーン・ジェネレーター

出力波形は鋸歯状波で、音色の合成に好適である。出力電圧は P-P で 0.7 V、使用トランジスターは 2SB171 が 73 個、使用トランスは 61 個で、すべてプリント配線となっている。出力インピーダンスは低く安定な動作をする。音域は 5 オクターブ 65~2093 c/s。完全に調整されているので電源をつなぐだけで使用できる。定価は ¥39,000 (ラック付) である。



### AP-1 型ペダル・アッセンブリー

板材のペダル・バーが使用しており、音域は c~c (13 キー)、キー接点はダブル・コンタクトである。定価は 16,000。

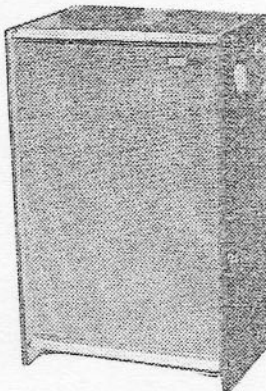
なお、特約店は関西地区は大阪市日本橋“河口無線”関東地区は東京都豊島区西巣鴨2-2380 “電子音波研究所” である。

(大阪市住吉区南加賀屋町 56)

エース電子工業 KK

## クライスラーの2ウェイ SP システム “10H-80”

低音用に 25 cm ウーファ (ナショナル 10P-L1) 高音用にホーン型ツイーター (ナショナルの HT-33) が内蔵されており、本格的な LC 型ネットワークを備え、また高音調節用のレベルコントロールがついている。キャビネットには音響学的に理想的といわれるホモゲンホルツを使用している。インピーダンスは 45~16000c/s、再生周波数帯域は 45~16,000c/s、最大許容入力 15W、出力音圧レベルは 103 dB、クロスオ



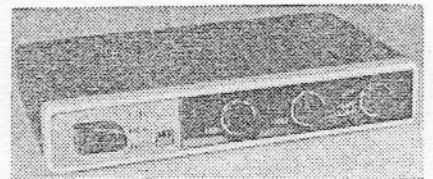
バーは 4000 c/s、アッテネーターはバランス型、キャビは位相反転型である。外形寸法は高さ 820×幅 525×奥行 312 (mm) で、重量は 20.5 kg である。

(東京都千代田区神田旅籠町 2 の 1)

クライスラー電気 KK

## ラックスのステレオ・ プリアンプ “PZ-11”

余計なアクセサリ的な付属装置を省き、基本的性能だけを重視してなるべく安価にまとめたのが本機である。使用トランジスタは 2SB173×6, 2SB171×6、入力は Mag (Lo) Mag (Hi), Xtal (AUX) で、入力インピーダンスはそれぞれ 45 kΩ, 50 kΩ, 500 kΩ である。出力インピーダンスは約 500 Ω。S/N は信号 1 V のとき Mag (Lo) が 60 dB、歪率 0.35% (全可聴周波数帯域 1.5V 以内)、トーン・コントロールは NF 型 (100 c/s ±10 dB, 10 kc ±10 dB)、電源は 9V×2 (乾電池自蔵) となっている。外形寸法は幅 218×高さ 38×奥行 175 (mm) である。特別定価は ¥13,400。



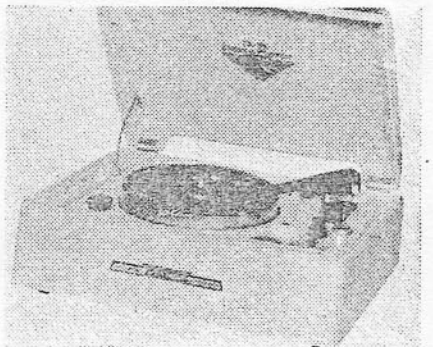
(大阪市西成区長橋通 2 の 22)

ラックス K. K.

## ビクターの新製品 3 種

### ●4 スピード・ステレオ・プレーヤー “SRP-118”

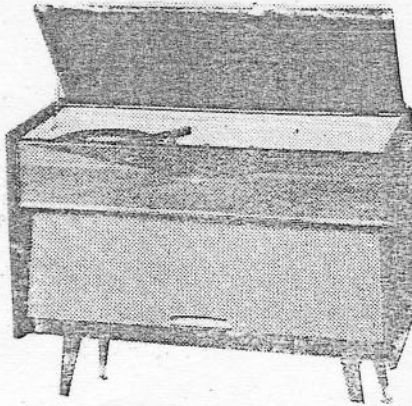
レコードが終ると自動的に止まり、ピックアップが戻り、電源が切れるというオート・リターン方式のものである。振動に対して針先がとばないという同社独特のパーフェクト PU を使用している。モーターは 4 スピード・シンクロナス型、ターンテーブルは 20 cm ゴム・カーパー付、PU はターンオーバー型で ST-LP はダイヤ針、SP はサファイヤ針、針圧は 6g である。外形寸法は幅 406×高さ 160×奥行 318 mm で、重量は 5 kg。定価は ¥13,800。





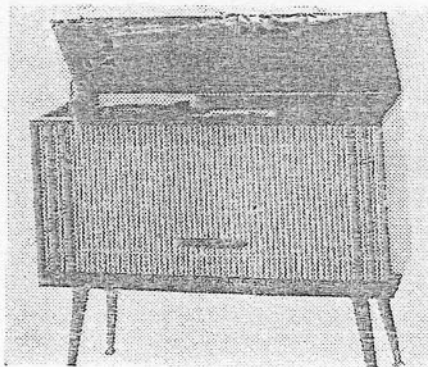
◎ステレオ・オーディオラ“STL-400 F, A”

前記と同じオート・リターン方式のプレーヤーを備えたステレオ・アンサンブルである。プレーヤー部の規格は大体同じである。チューナーは右チャンネルが 535~1605 kc と 3.8~12 Mc の 2チャンネル、それに 76~90Mc の FM もついている (F 型のみ)。使用真空管は F 型は 17 球+1 石、A 型が 14 球+1 石となっている。またフェーズ・スキッター方式のエコー装置もついている。スピーカーは 20 cm ダブル・コーン型を左右に各 2 個つけている。出力は左右各無歪で 2.5 W, 最大 3 W。外形寸法は幅 1000×高さ 800×奥行 330 で、重量は 26 kg である。定価は STL-400F が ¥52,800, STL-400A が ¥49,800 である。



◎ステレオ・オーディオラ“STL-714”

これもレコードが終るとピックアップはレストの位置にもどり、電源が切れるという、オート・リターン方式のプレーヤーである。就寝の時にレコードをかけたままでも心配なしという意味でスリーピング・スイッチとも呼ばれている。PU はパーフェクト・マグネチック型で、針は ST・LP がダイヤモンド、SP がサファイヤで、針圧は 5 g である。4 スピード、20 cm ターンテーブルである。これもフェーズ・スキッター方式のエコー装置つきである。SP システムは MFB 方式を採用し左右に 25 cm と 5 cm の各 2 個を取付けてある。使用真空管は 24 球+4 石で、受信周波数は右チャンネルが 535~1605 kc と 3.8~12 Mc、左チャンネルが 535~1605 kc と 76~90 Mc の FM である。出力は左右とも無歪で 5 W, 最大 8 W である。レコードからラジオ放送のダイナミック・レンジを広げるためのダイナミック・コントロールがついている。その他ラウドネス・コント



ロール、音質がひと目で見えるトーングラフつきである。外形寸法は幅 1010×高さ 840×奥行 430mm で、重量は 32 kg である。現金正価は ¥84,000。

(東京都中央区日本橋町 4 の 1)

日本ビクター K. K.

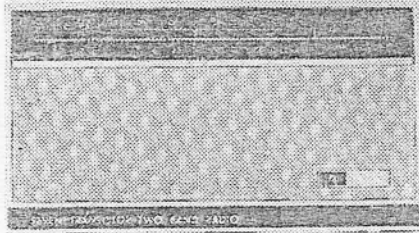
NEC の新製品 2 種

◎6石 TR ラジオ“NT-6M21”

6 石でコンパクトなポータブル・ラジオである。受信周波数は 535~1605 kc で最大出力は 200 mW, 実用電界強度は  $300 \mu\text{V}/\text{m}/5 \text{ mW}$ 。電池は BL-006P (9 V) で、使用時間は約 80 時間となっている。スピーカーは小型ラジオながら 6 cm のものを使用している。またイヤホンも使える。外形寸法は 111×70×30 mm で、重量は 290 g 定価は ¥5400 である。

◎2バンド・ラジオ“NT-7P21”

指向性の少ない強力フェライト・コア・アンテナと、1 石で 2 石の働きをする NEC ドリフト・トランジスターを用いて高感度なものとしている。受信周波数は 535~1605 kc と 3.8~12 Mc で、実用電界強度は中波が  $200 \mu\text{V}/\text{m}/5 \text{ mW}$ 、短波が  $20 \mu\text{V}/\text{m}/5 \text{ mW}$  である。最大出力は 200 mW。使用トランジスター



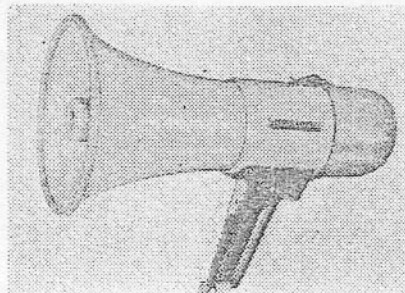
は 7 石で、またスピーカーは 6 cm である。電源は単三×4 (6 V) で約 80 時間の使用に耐える。外形寸法は幅 162×高さ 91×奥行 40 mm で、重量は 550 g である。定価は ¥8200。

(大阪府北梅田 2 第一生命ビル内)

新日本電気 K. K.

日本トランペットのホーン SP TRM-7

トランジスター・メガホン用のアンプを内蔵したもので、アンプは 2SB175 の電圧増幅、2SB174 のドライバー、2SB133×2 の電力増幅となっていて、出力は無歪 3 W, 最大 5 W となっている。通達距離は 300 m。ホーン口径は約 18 cm、長さ約 32 cm、重量は電池ともて約 1.8 kg である。電池は単一 4 個で、連続使用で約



4 時間、間欠使用で 8 時間以上となっている。ホーンの後端部にマイクがありその下にオート・リターン・コントロールがついている。使用マイクはムービング・コイル型である。

(大阪市東成区深江東 6 の 1)

日本トランペット商事 K. K.

ソニーの新製品 2 種

◎7石 2バンド・ラジオ“TR-729”

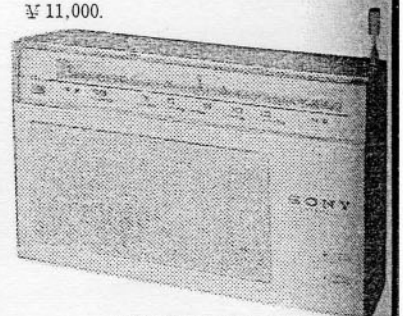
BC; 535~1605 kc, SW; 3.8~12Mc の 2 バンドでアンテナはフェライト・バー自蔵、13 段伸ばし棒・アンテナがついている。出力は無歪 180 mW, 最大 230 mW。スピーカーはダイナミック型 (80 mm)。電源は 4AA または単三×4 (6 V)。



外形寸法は 78×140×40 mm、重量は 450 g である。現金正価は ¥8,800。

◎8石 2バンド・ラジオ“TR-819X”

535~1605 kc と 3.9~12 Mc の 2 バンドで、スピーカーには 6.5×10 cm の大型楕円型スピーカーを使用していて、出力 (無歪 180 mW, 最大 280 mW) をフルに発揮できるようになっている。短波の受信にはファイン・チューニングのつまみがついている。なお本機 TR-819X には日本短波放送を聞くのに便利のためのクリスタルが内蔵されている。別にクリスタルのない 819 型もあるが内容は同じものである。電源は単二×3 (4.5 V)、外形寸法は幅 185×高さ 102×奥行 48 mm で、重量は 770 g である。現金正価は TR819X が ¥12,200, TR-819 が ¥11,000。



(東京都品川区北品川)

ソニー K. K.

日本無線 JRC 世界ではじめての定時放送自動受信装置完成

聞きたい放送 (短波) の時間がくると自動的に受信を開始し、それを録音も録画もできるとして、聞きのがしがなく、無線士も大助かりとなる。5 世界ではじめての定時放送自動受信装置が



本日本無線 JRC で完成。その第1号が OSK のニューヨーク定期航路「たこま号」にとりつけられた。これは、装置の最上部にとりつけてある目盛盤の上に、開きたい電波放送のチャンネル、放送時間およびテープレコーダーや気象ファックスなどとおきたい場合は、そのスイッチなどそれらを指示する箇所にパンチで穴をあけておくと、標準時間に合わせてつねに修正される仕組みの正確な水晶時計と連動して、自動的に受信がはじまり、同時に録音録画も行なわれる仕掛けである。



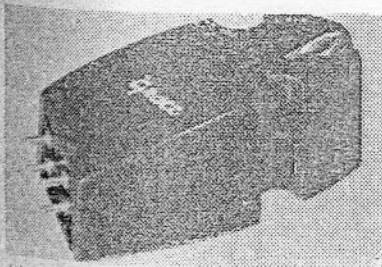
船舶の場合だと、気象庁の気象図放送、NHKの海外向け放送、共同通信社の対船舶向けニュース放送、郵政省の標準時報放送、海上保安庁の航行警報ならびに衛生情報放送など必要な放送を受信する場合に、無線士が24時間交替で、定時がくると操作しなければならなかった。また通信社、新聞社、各種官庁、放送局などがこれらの放送や外国の発信する各種短波放送を受信する場合も同様であるが、新装置では間違いなく受信が行われるし、限っていても録音、録画しておけるという便利なもの。また、この装置にとりつけてある時計に、船舶内または事務所内の電気時計を連結しておけば、絶えず正確な時刻に合わせてくれる遠隔制御の親時計の役割もする。

受信周波数の範囲は、4~10 Mc の間で任意の20波を受信できるから、国内、国外とも大抵の放送は24時間にわたって受信できる。写真の最上部は時計と目盛盤、その下がテープレコーダー 実用新案出願中 価格は180万円 (東京都三鷹市下連雀)

日本無線 K. K.

### グレースのステレオ・カートリッジ "F-6D"

ムービング・マグネット型のカートリッジで、ステレオモノラル兼用の0.7ミル針(ダイヤモンド)がついている。周波数範囲は出力電圧約5mV、直流抵抗:約100Ω(片チャンネル)インダクタンス:約300mH(同)、インピーダンス:約2000Ω(同1000cs)、負荷抵抗:20~100kΩ、チャンネル・バランス:感度±0.5dB(1000cs)、周波数特性 ±1dB、クロストーク:-25dB以下(1000cs)、-18dB以下(10000cs)、針圧:2~5g、サイズは幅16×長さ36×厚さ18mmとなっている。



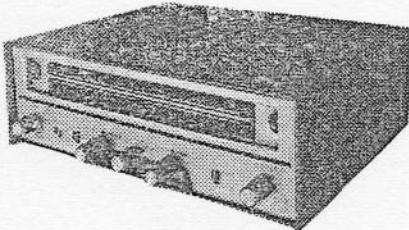
(東京都品川区大井元芝町 870)

品川無線 K. K.

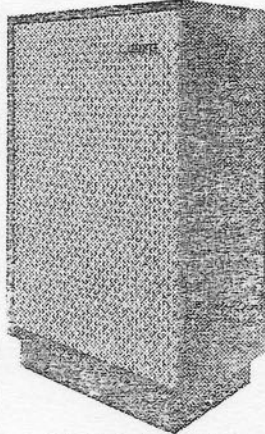
### パイオニアの新製品

#### ●ステレオ・トライアンブ "SM-B161"

チューナー部 A は 535~1605 kc と 3.8~12 Mc の 2 バンドで、B は 535~1605 kc だけである。使用真空管は 6BE5×2、6BA5×2、12AX7×3、6BM8×4、6E5×2、6AR4、0A79×2 となっている。実用感度は MW: 177 μV (1 Mc 出力 500 mW, S/N 30dB, 30% 変調), SW: 215 μV (上に同じ) である。アンプ部の終段は 6BM8 PP の 2 チャンネルで、出力は最大 9W×2、無歪 7W×2 となっている。入力端子は MAG, Xtal, AUX, イコライザーは NF 型 (RIAA 特性)、トーン・コントロールは CR 型 (両チャンネル連動)、ラウドネスコントロールは ON-OFF が可能である。出力端子は各チャンネルとも 4, 8, 16 Ω, テープ同時録音用の端子もついている。最大消費電力は 130VA。外形寸法は幅 402×高さ 147×奥行 305 mm で、重量は 10kg である。



#### ●2 ウエイ SP システム "CS-205"



(東京都文京区音羽町 6 の 5)

同社のホーン型 トイーター PT-3 とウーファ P W-20A の組合わせて本格的な LC ネットワークを自蔵した 2 ウエイ方式である。

出力音圧レベルは 103 dB/W となっている。外形寸法は幅 480×高さ 720×奥行 270mm で、重量は 14.5kg である。

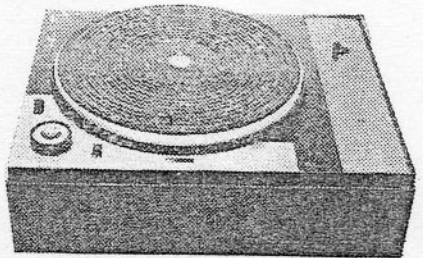
パイオニア K. K.

#### ニートのトランスクリプション型 4 スピード・ターンテーブル "P-88"

本機はプロフェッショナルのステレオ・ターンテーブルで、日本ではじめての二重ターン・テーブル装置を使っている(自重 2kg の超精密仕上げダイキャスト製で、フライホイール効果は充分で、ワウ・フラッターも皆無である。直径 35cm の上部ターン・テーブルとの結合は完璧で、瞬間ストップ装置が働らくばかりでなく、起動時間もかからず、回転時の偏心や上下ブレも全くない。ブレーキ・ツマミを使っただけで瞬間起動~停止ができる。また同社独特のイルミネ

ーション・ストロボ装置がついている。そして本機ではさらに従来のものとちがった反射鏡で光学用表面鏡と光学用黄色フィルターが使用してあるので、コントラストもよく見やすくなっている。水平バランス・ノブがついていてパネルの水平度の微調整も可能である。アームエレベーション装置があり、ニート GA-15 型パーフェクト・バランス・タイプのアームを使えば、スタートと同時にアームが下り、ストップと同時にアームが上るようになっている。

使用モーターは限取コイル 4 極インダクション型、回転速度は 16<sup>2</sup>/<sub>3</sub>, 33<sup>1</sup>/<sub>3</sub>, 45, 78 rpm。マグネチック・ブレーキによる速度微調整付、S/N 比 50 dB 以上、ワウ: 0.2% 以下、消費電力は 7W、パネル寸法は 477×380 mm となっている。



(東京都千代田区神田旅籠町 1 の 4)

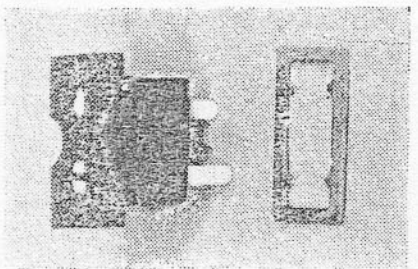
ニート音響 K. K.

### QQQ の新製品 2 種

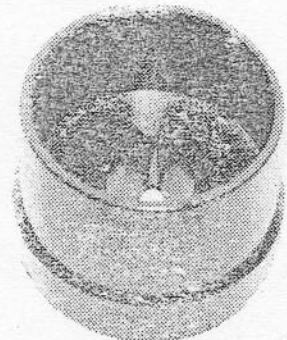
#### ●#348 水晶振動子用ソケット

このソケットは、シチズン・バンド用トランシーバやその他の通信機用として絶好のソケットである。構造は、基板に高絶縁で高周波ロスが少ないフェノール・エンジン・モールドを使用し、接触片には良質機青銅の特殊品を使用しているため保持力が強く、水晶振動子おさえ金具は不要であり、プリント版にも金属シャーシにも簡単に取付られるので機器の小型化、コスト低減が計れる。

単一保持力 85g、接触抵抗 10 mΩ 以下、さし込力 2.5kg 以下、絶縁抵抗 500V 1000MΩ 以上、引抜力 0.5kg 以上、耐電圧 AC 50 c/s 500V 1 分間。



#### ●B 筐ストレーナー

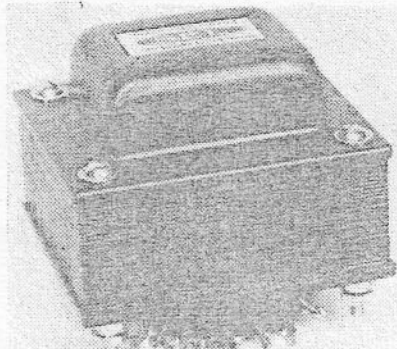




QQQ ではブラウン管ピンの曲がりを直す「B管ストレナー」#913型を発売した。使用B管は19AKP4, 19XP4, 17BZP4, 23MP4, 400CB4などで曲がったピンを「ストレナー」の穴に1~2回挿し込むだけでたちまち真直くなるというもので材質は特殊なモールドを用いているので割れたり欠けたりすることはない(東京都大田区大森2-181 TEL (761)0039) 中央無線 K. K.

**菅野電機の小型パワー・トランス**

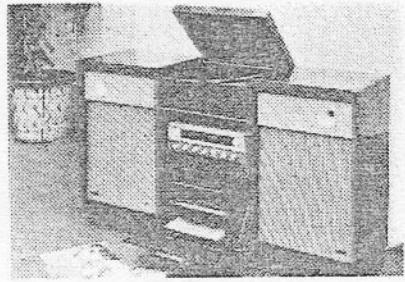
「SEL」SD-70F型は、特殊コアの使用と、合理的設計により高性能でしかも小型化に成功した製品である。合理的な巻線と、コアの優れた性能は鉄損・銅損を極めて少なくしているため、電圧変動率は非常に優秀である。SD-70F型はB 280V-250V×2-70mA 6.3V-3A, 6.3V-5V-2A という新時代にマッチした二次電圧・電流となっている



(東京都品川区大井寺下町 1441 番地) 菅野電機研究所

**山水のデラックス・ステレオ “APS-18”**

コンパクト・ステレオの名で売り出した高級なステレオ再生装置である。使用真空管は15球+1石で、総段は6BM3 PP が2チャンネル。出力は最大10W+10Wである。チューナー部は535~1605kc, 3.5~10McとFMの80~103 Mcの受信帯で、FMマルチプレックス放送の入力端子もついている。つまり入力端子はPHONO, TAPE (MIC), AUX, MPXである。トーンコントロールはCR型、ラウドネス・コントロールもついている。スピーカーは30cmのウーファとホーン型トワイターが左右に2個ずつついていて、再生周波数は25~15000 c/sである。入力インピーダンスは16Ω 入力は20Wである。

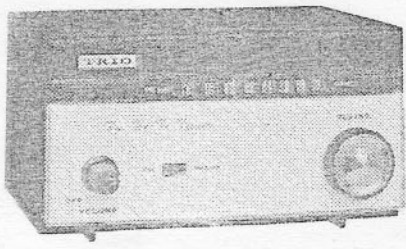


プレーヤー部には4極インダクション・モーターを使い、カートリッジは4極ムービング・

マグネット・タイプ(ダイヤ針つき、二重シールド)、トーン・アームはダイナミック・バランス型、ターンテーブルは1.5kgの30cmアルミダイキャスト製である。外形寸法は幅1540高さ875×奥行455mmで、重量は95kgである。(東京都杉並区和泉町) 山水電気 K. K.

**トリオのFMチューナー “FM-108”**

強力な内部アンテナを自蔵し、中間周波段レシオ検波という回路で、外部アンテナを使用しなくてもよいという高感度なFMチューナーである。受信周波数は76~90 Mc, 感度は3μV/84 Mc (S/N 20dBに要する入力)、選択度はバンド幅150kc (-6dB)、歪は100%変調で1%以下、イメージ比は35dB以上(84Mc)、周波数特性20~20,000 c/s(±0.5dB)となっている。使用真空管は17EW3, 12BA6×2, 35W4, 1N60×2で、入力端子はステレオPU、出力はステレオ出力、MPX出力である。外形寸法は幅202×高さ116×奥行120mmで、重量は1kgである。

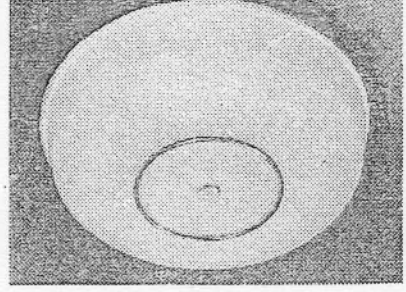


(東京都大田区調布千鳥町 74) トリオ K. K.

**ナショナルの新製品2種**

**●スピーカーつきカラー・トランジスター・蛍光灯器具**

これは車輻の照明と拡声装置用スピーカーとを組合わせたもので、トランジスターの動作により直接バッテリー(12Vまたは24V)で効率よく点灯する。また特殊カラー・ホーンにより、照明効率の低下を防ぎ、スピーカーの音を損失なく車内に導くようになっている。スピーカーは口径12cmのものが使われている。



**●2スピーカー・ルーム・ラジオ “E-330”**

12BE3, 12BA3, 12AV3, 3JA5, 35W4というレスの5球スーパーで、535~1605kcと3.75~12 Mcの2バンド・ラジオである。スピーカーは10cm丸型が左右についている。電気出力は無歪1.2W, 最大1.5W, 消費電力は23VAで

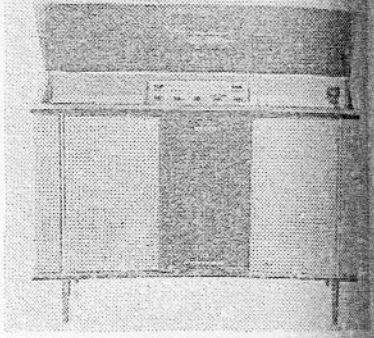
ある。幅446×高さ165×奥行136.5mmで、重量は2.2kgである。現金正価は¥7,450



(大阪府北河内郡門真町) 松下電器産業 K. K.

**三洋のステレオ・アンサンプル “STG-390”**

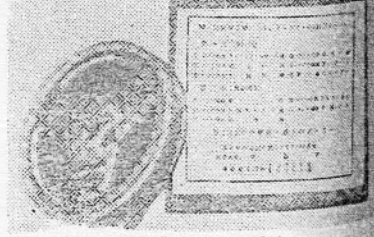
使用真空管は12BE3×2, 12BA6×2, 12AX7×2, 32A8×3にシリコン整流器2個、ダイオード1N63A×2という内容のもので、右チャンネルがMW, SWの2バンド、左チャンネルがMWのチューナーつきである。プレーヤーは20cmの大型ターン・テーブルがついており、4スピード、モーターはインダクション型、PUはクリスタル・ステレオ・ターンオーバー型である。アンプ部はリバーブ・ユニットがつき、音質調整がカラーで表示されるカラー・トーンシステムのものである。またFMチューナーを組み込むことができるようになっている。出力は無歪2.5W×2, 最大3.5W×2, クロスオーバー40dB(1000c/s), スピーカーは20cmウーファと6cmトワイターが各2個で、再生周波数は50~20000c/sとなっている。外形寸法は幅1124×高さ880×奥行395(mm)で、重量は30kgである。現金正価は¥57,000



(大阪府守口市京阪本通 2 の 18) 三洋電機 K. K.

**マジマの録音テープ**

愛の鐘と親しまれているKKマジマでは、このほど愛の鐘の録音テープ1,000本を製作し7月15日より市、町、村はじめ会社、工場などに販売することになったテープ1本の値段は送料ともて300円(郵券で可)である。この1本のテープには次の11曲が録音されている。ケエストミンスターの鐘、明るい街、幸福の皇子守唄、愛の鐘のメロディ、家路、みおつくしの鐘、浜千鳥、栄えゆく都市、荒城の月。



(東京都杉並区久我山 2 の 561) K. K. マジマ